

春闘史上最悪の結果となった09春闘

電機連合は、過年度の物価上昇分に基づき、ベア要求4500円を徐々に掲げました。しかしながら、ベア要求そのものを取り下げ、実質賃下げを受け入れるなど春闘史上にもない汚点を残す結果になりました。

春闘最終段階で、「賃金体系維持」という「闘争回避基準」(ハドメ)を決めましたが、大手組合などがこれを満たしていないにもかかわらず実力行使を回避しました。その結果、日立グループ連合は、ベアゼロ、賃金体系維持も半年凍結、一時金も前年から大幅な減少となりました。

一方で日立は、「経営危機」と称して、大量の派遣切り、社員へは早期退職、無給の休日(月1回)、残業割増率の法定水準までの切り下げ、出張手当の減額など、労働者に犠牲を強いる施策を押し付けました。春闘でこれだけの賃下げや労働条件の低下を受け入れたことはかつてありません。

今春闘では、何よりも全労働者の「雇用も賃上げも」獲得する闘いが求められていました。グローバルズムと株主優先へと大きくシフトした経営側の姿勢に対し、これまでの「良き労使関係」をベースに「お願いをする」交渉では結果が出せないことが改めて明らかになりました。

【日立グループ連合 09年春闘回答】(賃金は、全てベアゼロで賃金体系維持)

組合名	一時金			組合名	一時金		
	賃金ベース	額	月数		賃金ベース	額	月数
日立	301,600	1,266,720	4.20	日立HTIU	317,700	571,860	半期1.8
パプコック日立	272,543	1,128,000	4.10	八木アンテナ	275,188		3.40
日立工機	303,000	1,393,800	4.60	日立PDP	224,280	785,000	3.50
日立マクセル	275,888		半期1.5	日立金属	297,481	1,200,000	4.14
日立ピアメカニクス	278,785	1,129,080	4.05	日立化成工業	267,368	1,170,000	4.37
日立国際電気	289,725	1,200,697	4.10	日立エーアイシー	257,237	772,000	3.00
日立プラントテクノロジー	300,000	1,350,000	4.50	日立アイイー	266,609	1,066,437	4.00
日立建機	293,510	1,350,200	4.60	サイタ工業	215,546	400,000	半期 1.81
日立アプラインス	307,100	1,243,756	4.05	HES	304,304	1,268,948	4.17
日立ICS	289,800	1,246,140	4.30	日立物流	301,644	1,538,386	5.10
日立COM	305,800	1,391,000	4.55	日立粉末冶金	259,101	972,000	3.75
日立メデイコ	275,741	1,209,936	4.38	日立IMDX	278,261	1,127,000	4.05
日立ライティング	276,000	883,200	3.20	日立ES	295,072	1,195,042	4.05
日立超エル	308,230	1,282,240	4.16	九州日立マクセル	255,529		3.95
日立RT	292,100	1,051,560	3.60	HiSEC	287,110	11,191,506	4.15
日立産機	281,300	1,203,964	4.28	アキタ電子	261,203		
日立DP	290,600	1,223,426	4.21	HiMEC	259,771	1,067,659	4.11
日立電線	294,387	1,148,800	3.8+	日立メディアエレ	264,282	898,559	3.40
東北電機	311,867		4.0+	日立国際HS	262,885	1,090,493	4.10
日立SK	-	1,350,000	-	日本サーボ	251,532		半期 1.5+
日立ビルシステム	299,743	1,486,725	4.96	日立協和エンジニアリング	282,575	1,164,210	4.12
日立電子サービス	282,669	693,000	半期 2.5	日立原町電子工業	260,096	1,040,384	4.00
新神戸電機	256,010			日立空調SE	282,168	1,142,780	4.05
日立JTE	291,780	1,314,000	4.50	ICC	286,300	1,145,200	4.00
日立SAS	268,000	1,317,191	4.74	RPS	298,200	1,416,450	4.75
日立エイチ・ピー・エム	292,177	1,300,000	4.45	AEパワー	298,550	1,253,910	4.20
日立コンピュータ	294,854	1,247,234	4.20	日立ハイテク	305,235		半期協定 前期比 9.4%

日立懇 <発行> 2009年5月号 <日立・勝田地区版>

日立関連労働者懇談会

〒108-0073 東京都港区三田3-2-20

(電機労働者懇談会気付)

TEL(03)3455-6006 FAX(03)3451-3595

http://www.hitachikon.net

Eメール info@hitachikon.net

最寄の連絡先 090-8747-6239(馬場)





どうなってるの？

今年もメーデー中止

連合茨城の常陸那珂地協のメーデーが昨年に続き連続で中止となりました。雨の天気予報とは言え早々と前日に中止決定。非正規労働者の大量雇い止め、失業と貧困、格差の広がり。一時金切り下げと雇用不安、リストラの嵐が正規労働者にも吹き荒れている時に、働く者の団結で生活と権利を守る闘いであるメーデーの歴史と伝統はどうなっているの、組合不信が広がっています。なんで五月一日じゃないの、予備に屋内会場の準備くらい出来ないの、との声が出されています。

(日立工機)

企業として根本的な
何かが欠けているのでは

「日立は大変なことしちゃったね」と近所の人たちから言われました。日立の冷蔵庫で「エコ」不当表示のことです。「7千億円の赤字」や「グループ企業の再建のための、公的資金活用」など、最近、日立は何かとマスコミで話題になっていますが、冷蔵庫は身近なものであり、しかも省エネ大賞受賞とあって関心が高いようです。会社は「日立アプライアンス社内の連絡の不備によるもの」としていますが、「本当にそうなのか」という指摘もあります。原発のデー

夕改さんの発覚もあり、企業として根本的な何かが欠けているのでは。(情制シ)

時短取組口

派遣社員は年休

時短取組日(ワークシェア休日)となった4月17日、派遣の人は年休となりました。派遣元の会社と調達部の協議が間に合わず、「とりあえず今月は年休で」となったようですが、「少ない年休のなかからお盆には一斉年休で、今回も年休。自由に使える年休がますます少なくなつて困っちゃう」との声が出されました。(情制シ)

20トンの重りが落下!

日本AEPパワー変圧器の組立職場で3月にクレーンの官検用の重り約20トンが天秤釣から落下する事故が発生しました。幸いに人身事故にはならず不幸中の幸いでした。クレーン経験者は「自分が運転して下に人がいたらと思うとぞつとした」と気を引き締めていました。再発させない安全対策が肝心です。

(AEPパワー)

あくまで会社主導の再雇用

不況のあおりを受けてか、再雇用で働いていた人が63歳で雇い止めになっています。今までは、それを過ぎても何らかのかたちで働いていた人が多くいた。今回は決り(年金満額支給)と言つ。忙しい時はいつまでも、暇になると本人の都合など考えないで、

決りを盾にする。これからの再雇用者は穴の空いたボジションへ配置換えに、この歳で辛いね。(日立協和)

なぜか自己都合退職

7月に分社化になるので、その前に、身軽にするために希望退職を募つて来ました。それに応募した人の扱いは、自己都合退職扱いとのことです。会社都合だと雇用保険もすぐ出るし、期間も11ヶ月分です。しかし、自己都合では5ヶ月分しか出ません。おまけに3ヶ月の待機期間があります。会社は6ヶ月間、自己啓発(職探し)として手当を支給しますが、何かおかしいね。(旧佐和工場)

確定拠出年金で

大きな損失

昨年、みずほコーポレート銀行の講師を呼んで説明会が開かれた。講師は分散投資を推奨していたので債権などに投資先を変えた人もいたと思いますが、元本確保型以外の商品のほとんどがマイナスの収益率であった。日立グループの企業内の運用利回りはマイナス4・43%で、マイナス20%未満の人も4%います。

確定拠出年金の想定利回りは2・5%のはずでした。これでは退職後に受けとる年金は減るばかりです。確定拠出年金制度そのものを見直す時期に来ているのではないか。

(日立)

